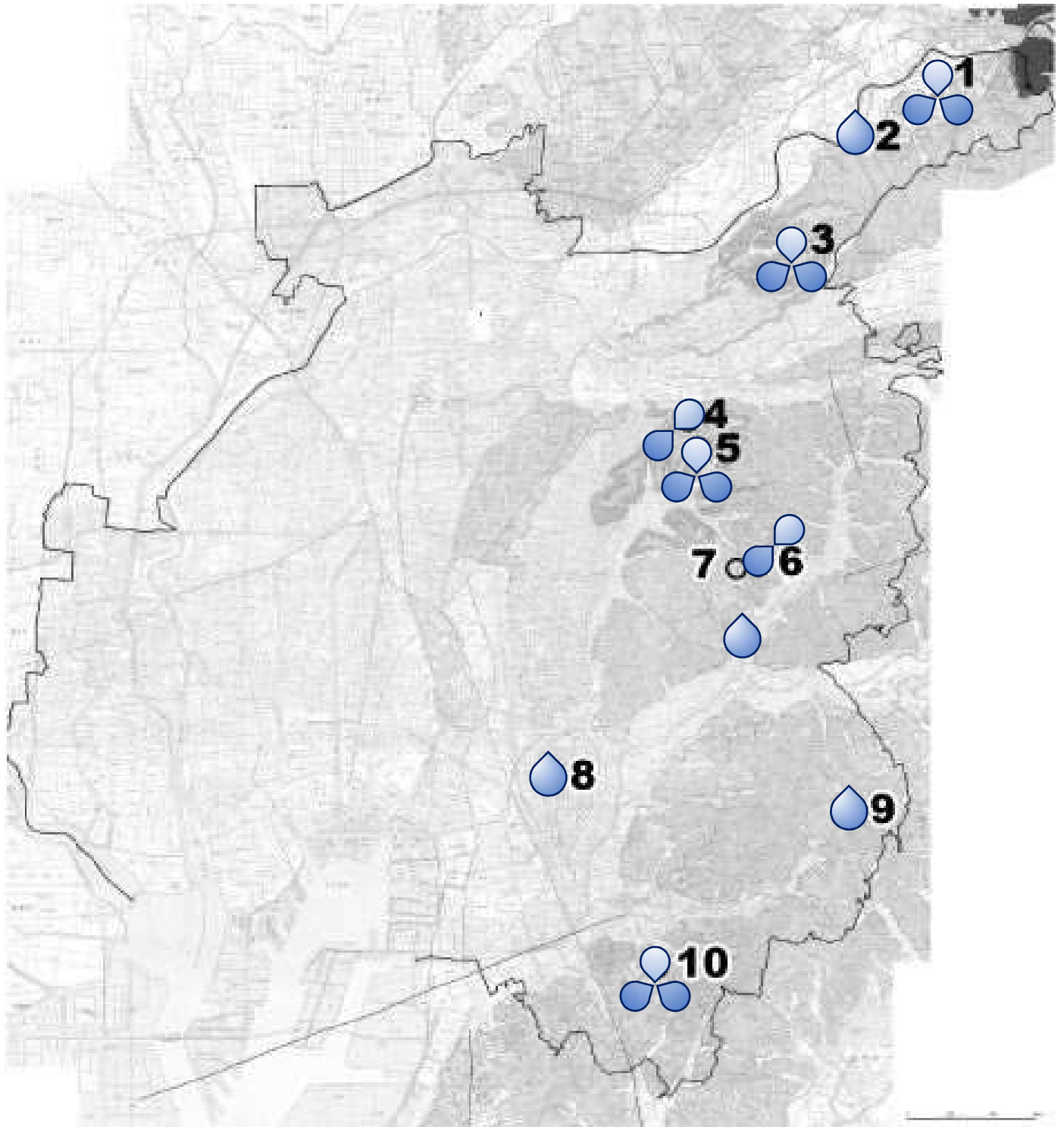


令和4年度春季結果まとめ

No.	地点名	調査日	調査時刻	気温 (℃)	天気			水量			水温 (℃)	pH	COD (mg/L)	硝酸態窒素 (mg/L)	鉄 (mg/L)	マンガン (mg/L)
					当日	前日	前々日		計量できる場合 (mL/min)							
1	中志段味	4月20日	9:30	21.0	晴	曇時々雨	晴	1	多量	—	18.0	5.5	1	1.0	<0.2	0.0
2	吉根	5月29日	12:10	31.5	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	301	11.5	6.0	4	0.0	0.0	0.0
3	小幡緑地	5月3日	13:20	15.5	晴	曇時々晴	雨時々曇	1	多量	3,750	9.5	6.0	6	1.5	<0.2	<0.5
4	茶屋が坂	4月2日	12:20	12.8	曇	晴	曇	2	小流れ	2,000	13.2	6.5	2	2.0	5.0	0.5
5	本山	5月20日	16:45	25.0	曇	雲	曇	1	多量	5,000	16.5	6.0	2	2.0	0.2	0.0
6	東山	5月17日	10:30	16.5	曇	雲	雲	2	小流れ	400	14.0	5.5	0	0.0	0.0	0.0
7	八事裏山	5月3日	10:40	17.4	晴	曇時々晴	雨時々曇	3	しみ出し 程度	—	12.2	6.0	2	0.0	0.0	0.0
8	呼続	5月5日	11:00	26.0	晴	晴	晴	3	しみ出し 程度	—	15.5	7.0	6	0.2	0.5	0.5
9	神の倉	5月26日	9:00	21.0	曇	晴	晴	3	しみ出し 程度	—	16.2	6.0	0	<0.2	0.2	<0.5
10	大高	5月12日	8:45	21.0	雲のち雨	雲のち晴	晴	1	多量	3,750	15.0	5.5	3	0.5	0.2	0.5

No.	地点名	コメント
1	中志段味	ツバメ、シオカラトンボ、ニホンタンポポ多数、川モズク、メダカ、アメンボ、セリ
2	吉根	・気温が30℃以上と高温となる日であった。湧水も水量が少なく気温の影響を受けており、22.5℃と高くなっている。 ・湧出水が出た後に溜まる円形の池では、ミズムシや蛭などの水生生物が確認出来た。いずれも、やや汚い場所に生息する生物である。
3	小幡緑地	水量も吐出口のまわりも特に外観から変化は感じられず、硝酸態窒素の濃度が普段より高かった理由は分かりませんでした。
4	茶屋が坂	
5	本山	
6	東山	水量は前回と同じだった。だがいつもはぬかるんでいるところが乾いているように感じた。地面には小さな虫が数多く飛んでいた。
7	八事裏山	林道は乾燥していたが湧水地点付近はぬかるんでいた。流れは緩く止水域に近い様態であった。底面は主に落葉に形成されていた。また、水の量は小流れとしみ出しの間程度でとても少なく、透明であった。周辺の樹木は葉面積が夏季に比べて小さかった。虫が多く見られた。
8	呼続	
9	神の倉	〈湧水量について〉 今回は湧水部Aからの水滴の落下が少ないように感じた。曇り空のためかなり暗くて確認が難しく確かなことは言えないが、これまでa部から落ちていた水滴が今回はほとんど見られずb部より落ちているように見えた。湧水量が減少したためか御手洗場の水位は15mm程度低い。堰左端B部からは先回と同様に水の流れ出る音が聞こえている。実際に流れ出ている様子は確認できないが、苔の部分からは3-4秒ごとに1回の水滴の滴下が見られる。御手洗場のB部から流出した水は落葉の下にしみこんでしまい流れは確認できない。 〈水温について〉 2月に外気温を上回った水温が再び外気温を下回り、温度差は-4.8℃となり昨年5月とほぼ同じ水準となった。 
10	大高	



 : 多量

 : 小流れ

 : しみ出し程度

 : なし